

機械器具 06 呼吸補助器
管理医療機器 特定保守管理医療機器
液体酸素気化式供給装置（コード：70583000）

携帯型救命用液体酸素気化供給器 BMOS

【警告】

充填された液体酸素は、直接触れると皮膚組織を凍結し、重大な障害を及ぼす可能性がある。

【禁忌・禁止】

1. 本品を使用中、50 フィート(15.24m)以内で喫煙または火気の使用をしないこと。
2. 供給される酸素を、吸収材、衣服、布などに近づけないこと。これらの材質は酸素を吸着して発火する可能性がある。
3. いかなる種類の潤滑油も使用しないこと。
4. 十分に換気された場所以外で操作、保守しないこと。
5. 液体酸素に触れないこと。皮膚がただちに凍結し重大な凍傷となる可能性がある。
6. 配管や液体酸素容器を破損するおそれがあるため、開放バルブ等の不具合がある状態で充填・使用をしないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状及び寸法



高さ 165mm 幅 191mm 奥行：445mm 質量 8.17kg

2. 構成

- (1) 本体
- (2) 付属品：コードデュラ・バック

3. 電気的定格

電気的定格		DC9V（アルカリ単三形乾電池 6 本使用）
機器の分類	保護の形式	内部電源機器
	保護の程度	BF 形装着部
水の浸入に対する保護		IPX4

4. 原理

充填ポートより液体酸素容器へ充填された液体酸素は、加温コイルにより温められることにより気化して、気体酸素となり患者に供給される。一方、液体酸素容器内で気化した酸素が一定圧力以上となった場合、エコノマイザバルブが開放し、加温コイル側で供給される気体酸素に優先して、患者に供給される。これにより液体酸素の消費量を抑えることができる。エコノマイザバルブもしくは加温コイルより気化した酸素は流量制御バルブに送られ、0～15L/分の間で 12 種類に流量を制御されて、患者に供給される。

【使用目的又は効果】

液体酸素を気化及び減圧し、酸素ガスの供給に用いること。

【使用方法等】

1. 使用前準備

- (1) ベントバルブが物で塞がれていないこと確認してから開放し、圧力計が 0 を示すまで、充填された液体酸素を完全に放出する。
- (2) ベントバルブを開放したままの状態、CRU-59/E メス型充填バルブ（EN-VALVE FILLER LIQUID OXYGEN FEMALE CRU-59/E）に適合する充填器を充填ポートに接続して、液体酸素を充填する。
- (3) 充填の際は、液体酸素が飛散した際の凍傷を防止するため、顔面を保護するゴーグル、革製の作業用手袋、ゴム底の革製ブーツを着用する。
- (4) 最大量（2L）の液体酸素が充填されると、ベントポートからリリースされた液体酸素が流れ出す。通常 5 分以内で最大量の充填が完了する。充填が終了したらベントバルブを閉じ、充填ポートから充填器から取り外す。
- (5) 本体を設置する。本品は横置きの状態又は縦置きの状態いずれでも使用可能である。航空機等で使用する場合は本体を固定する。

2 使用中の操作

- (1) 残量計パネルの酸素残量選択ボタンを押し、十分な液体酸素が充填されていることを確認する。
- (2) 圧力計が緑のゾーン（0.31～0.38MPa）を示していることを確認する。
- (3) 流量制御ダイヤルを最大の目盛 15 に設定して酸素を放出したとき、圧力計が緑のゾーン（0.31～0.38MPa）を示していることを確認する。
- (4) 流量制御ダイヤルを 0 に戻す。
- (5) 酸素吸引用チューブを酸素出口に接続する。また、アクセサリポートに接続した補助流量制御バルブに酸素吸引用チューブを接続し、もう一名分の酸素の供給を行うことも可能である（メインとなる酸素出口との合計流量が 15L/分以下の場合のみ）。
- (6) 流量制御ダイヤルを回し、0.5L/分 1L/分 2L/分 3L/分 4L/分 5L/分 6L/分 8L/分 10L/分 12L/分 15L/分のいずれかの流量を選択すると、酸素が供給される。最大量（2L）の液体酸素を充填して、最大流量（15L/分）で使用した場合の使用時間の目安は、約 2 時間である。

3. 使用後の処置

- (1) 流量制御ダイヤルを 0 にして酸素の供給を遮断する。
- (2) 酸素吸引用チューブを酸素出口から取り外す。
- (3) 石鹼水に浸して絞った布で表面を清拭する。汚れがひどい場合は、軟らかいナイロンブラシを併用する。その後、清潔な水に浸して絞った布で拭き取り、完全に乾燥させる。

【使用上の注意】

1. 使用方法に関連した使用上の注意

- (1) 充填する際に液体酸素を取扱う作業員は防護服を着用すること。
- (2) 酸素充填は、十分に訓練を受けた有資格者が行うこと。
- (3) 充填時は、補充ポートおよびベントポートから十分に離れること。
- (4) 長期間使用しない場合は、電池を取り外すこと。
- (5) 他の機器と並べたり、重ねたりして使用しないこと。やむを得ず他の機器と並べたり、重ねたりして使用する際は、正常に作動することをあらかじめ確認すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- (6) 充填後、温度を安定させるため、車輛または航空機による輸送もしくはこれらへの搭載の前に、少なくとも 10 分間置くこと。
- (7) 液体酸素との接触を避けるため、充填用ノズルやホースの分離時には一方の側に立って作業すること。
- (8) 充填する場合には、グリース、油、その他可燃性の物質や気体のない十分に換気された場所で行うこと。
- (9) 凍結による故障防止のため、充填ポートが清潔かつ乾燥していることを確認すること。汚れ又は水分が付着していると接続部分が固着し、充填器から本品を取り外しにくくなる恐れがある。
- (10) 推奨姿勢以外の姿勢で操作すると、酸素供給が不適切になり供給時間が短くなる恐れがある。
- (11) 水に浸すと正しく動作しなくなる可能性がある。

2. 重要な基本的注意

- (1) 十分に訓練を受けたもののみ本品を操作する権限がある。
- (2) 使用する場合は、必ず該当する指令の安全上の注意を確認すること。
- (3) 改造等、本品に変更を加えないこと。またカバーを勝手に取り外さないこと。
- (4) 取扱説明書に記載された以外のメンテナンスを行わないこと。

【保管方法及び有効期間等】

○使用条件

- (1) 周囲温度：-17.8～49℃
- (2) 使用：50 フィート(15.24m)以内で喫煙または火気の使用が無いこと
- (3) 充填：50 フィート(15.24m)では喫煙のほか、内燃機関や電気モーター、ヒーター、その他火気類の使用が無いこと。また、グリース、油、その他可燃性の物質や気体のない十分に換気された場所で行うこと。

【保守・点検に係る事項】

- 1. 詳細については取扱説明書を参照すること。
- 2. 使用後は以下の方法でメンテナンスを行うこと。
 - (1) 石鹼水を浸して絞った布で表面を清拭する。汚れがひどい場合は、軟らかいナイロンブラシを併用する。
 - (2) 清潔な水を浸して絞った布で拭き取り、完全に乾燥させる。

【製造販売業者及び製造業者等の氏名または名称等】

製造販売業者

日本エヤークラフトサプライ株式会社

電話：03-5368-5200

FAX：03-5368-5201

製造業者

エセックス インダストリーズ Essex Industries, Inc.

製造業者国名

アメリカ